

## 公益社団法人日本地震学会 2020 年度第 7 回理事会議事録

1. 日 時 2021 年 3 月 15 日 (月) 13:00~16:10
2. 場 所 新型コロナウイルス感染拡大予防のため Zoom を利用したビデオ会議により開催  
議長の所在：東京大学地震研究所 東京都文京区弥生 1-1-1  
議事録作成者の所在：日本地震学会事務局 東京都文京区本郷 6-26-12 東京 RS ビル 8F
3. 理事数 15 名
4. 出席者 理事 15 名, 監事 1 名
  - ・理 事：小原一成, 吾妻 崇, 加納靖之, 久家慶子, 齊藤竜彦, 酒井慎一, 佐藤利典, 豊国源知, 中川和之, 中島淳一, 西田 究, 久田嘉章, 干場充之, 行竹洋平, 綿田辰吾
  - ・監 事：山岡耕春
  - ・オブザーバー：論文賞選考委員長, 若手学術奨励賞選考委員長
  - ・事務局：中西のぶ江, 岡野美紀子

### 5. 審議事項

議長小原一成は、理事 15 名及び監事 1 名出席のもとに理事会を開催した。出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意思表示が互いにできる仕組みを確認後に、以下の議案について審議に入った。

#### 第 1 号議案 論文賞および若手学術奨励賞の受賞者の決定について

2020 年度論文賞推薦候補論文について、論文賞選考委員長より受賞候補論文 3 編の選考結果が報告された。審議の結果、論文賞受賞対象論文を以下の通り決定した。

- ・角田・弥彦断層海域延長部の活動履歴——完新世における活動性と最新活動——
- ・著者：大上隆史・阿部信太郎・八木雅俊・森 宏・徳山英一・向山建二郎・一井直宏
- ・掲載誌：地震第 2 輯第 71 巻 (2018) 63-85 頁 DOI: <https://doi.org/10.4294/zisin.2017-9>
  
- ・1990 年から 2016 年の間に新聞メディアで報じられた地震学ニュースの内容分析
- ・著者：山田 耕
- ・掲載誌：地震第 2 輯第 71 巻 (2019) 161-183 頁  
DOI: <https://doi.org/10.4294/zisin.2018-2>
  
- ・Fault model of the 2012 doublet earthquake, near the up-dip end of the 2011 Tohoku-Oki earthquake, based on a near-field tsunami: implications for intraplate stress state
- ・著者：Kubota, T. (久保田 達矢)、Hino, R. (日野 亮太)、Inazu, D. (稲津 大祐)

and Suzuki, S. (鈴木 秀市)

・掲載誌： Progress in Earth and Planetary Science (2019) 6:67

DOI: <https://doi.org/110.1186/s40645-019-0313-y>

2020 年度若手学術奨励賞推薦候補者について若手学術奨励賞選考委員長より受賞候補者 3 名の選考結果が報告された。審議の結果、若手学術奨励賞受賞者を以下の通り決定した。

・麻生 尚文

多角的な視点による地震波動源物理学

・大谷 真紀子

巨大地震発生機構の理解と予測可能性に関する地震発生サイクルシミュレーション研究

・高木 涼太

地震・地殻変動多点連続観測データに基づく地球内部広帯域変動現象の研究

なお、若手学術奨励賞選考委員会から、推薦方法や公募についてのコメントがあり、今回の公募に向けて表彰委員会で検討することとした。また、酒井理事より日本地震学会賞及び技術開発賞については応募期間を4月末まで延長したことが報告された。

#### 第2号議案 定款第18条第7項による監事の役員報酬について

中島常務理事より、役員の報酬・退職金に関する規程第3条2項に基づき、2021年度通常社員総会から2022年度通常社員総会までの間の定款第18条第7項による監事の役員報酬について審議が行われ、原案通り月額4万円の報酬とすることを決議し、あわせて定時社員総会に付議することとした。

#### 第3号議案 事務局職員給与について

中島常務理事より給与規定第5条に基づき、来年度の職員の俸給について俸給月額表と合わせて説明が行われ、原案通り各職員の俸給月額を承認した。

#### 第4号議案 事業計画書案について

2021年度事業計画案について中島常務理事より説明が行われた。秋季大会の開催形式をオンラインとすること等から、原案を一部修正し承認することとした。

#### 第5号議案 予算書案について

2021年度収支予算案について、西田会計担当理事より説明が行われた。前回の理事会において提示された当初予算案を見直し、理事会・委員会経費を再検討した予算案が提示された。審議の結果、2021年度予算として資金調達及び設備投資の見込みはないことを確認

し、理事会・委員会経費を再検討した原案を一部修正し承認することとした。なお、予算案が今年度と同程度の赤字となり、赤字予算が続くことから今後の見通しについて質問があり、財政状況の改善について会計担当理事を中心に検討をしていくこととした。

#### 第6号議案 会員管理システムの導入について

中島常務理事より、第5回理事会から検討を続けている会員管理クラウドサービス導入について資料が提示された。現在の会員管理の状況を確認し、システムの導入における利点やセキュリティ対策について説明が行われた。審議の結果、2021年度に会員管理システムの導入を進めることが承認された。また、導入にあたり情報漏洩等の問題が発生した場合の責任の所在について質問があり、導入を進める前に契約等について確認を行うこととした。

#### 第7号議案 就業規則の改定について

中島常務理事より職員の在宅勤務について定めがないことから、在宅勤務について定めることと有給休暇の時間休取得に関する定めを追記した改定案が提示された。審議の結果、原案を一部修正のうえ承認した。

#### 第8号議案 2021年度倫理委員会の委員について

中島常務理事より、倫理委員会規則第3条4項に基づき、来年度の倫理委員会の委員委嘱について4名の委員候補者が提示され、原案通り承認した。

#### 第9号議案 日本ジオパーク学術支援連合への参加について

中川常務理事より、日本ジオパーク学術支援連合への参加について資料が提示された。関係学会と共に「日本ジオパーク学術支援連合」を設立し、当面は事務局を日本ジオパークネットワーク(JGN)に置くこと、2021年度から活動を開始する予定であることが説明され、日本地震学会の参加について審議された。審議の結果、全会一致で日本ジオパーク学術支援連合への参加を承認した。

#### 第10号議案 入会承認について

中島常務理事から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった2名(内学生0名)の入会を全会一致で承認した。また、提出された学生会費適用申請書を承認した。

## 6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 事務局より、正会員28名(内学生9名)の退会届が提出されたとの報告があった。
2. 齊藤理事(欧文誌運営担当)より、業務執行報告が行われた。2021年度EPS誌分担金覚書を締結したこと、EPS編集委員会において2020年度表彰のうち、Excellent

Reviewers 12 名, Highlighted Papers 8 編が選出されたこと, 特集号の提案を常時募集していることが報告された.

3. 行竹理事(地震編集担当)より, 業務執行報告が行われた. 3月12日現在8編を編集集中で3編を印刷中であること, 73巻は計15編が発行され総ページ数は249ページとなったこと, 冊子体3月号には3編を掲載し, 電子版を会員専用ページで公開したこと, 73巻学術論文部のまとめ冊子1100部の発行を行ったこと, EBSCOhostとの契約手続きの進捗状況が報告された.
4. 干場理事(強震動担当)より業務執行報告が行われた. 地震(ニュースレター部)に連載している「新・強震動観測の最新情報」の連載状況について報告された.
5. 豊国理事(学会情報誌担当)より, 業務執行報告が行われた. 『地震(ニュースレター部)』およびメールニュースの発行を滞りなく行っていること, メールニュース1月号の欧文誌巻番号の記載について訂正記事を2月号に掲載したこと, 会員専用ページでのバックナンバーの個人情報墨消しの確認状況について報告された.
6. 久田副会長(連絡会議担当)より業務執行報告が行われた. 1月20日午後に開催された連絡会議において, 公開セミナーについて, 大会ポスター・学会HPにおけるポスター展示, 地震学を社会に伝える連絡会議の英文名について, 各委員会の「社会活動」に関する活動について, 各委員会による地震学を社会に伝える活動に関する報告等を議題として検討したことが報告された. また加納理事より2月に開催した一般公開セミナーについて, 参加者アンケート結果と合わせて実施報告が行われた.
7. 加納理事(学校教育担当)より業務執行報告が行われた. 学校教育委員会を2021年2月28日にオンラインで開催し, ウィンターミーティングのまとめ, 資料・教材の共有について, 来年度の免許状更新講習を議題としたこと, 次回委員会を2021年5月に予定していることが報告された.
8. 酒井理事(海外渡航旅費助成・表彰担当)より業務執行報告が行われた. 海外渡航旅費助成では2021年度前期の2種類(従来型, 参加登録費用のみ)の助成にそれぞれ応募があったことが報告された. 審査にあたり従来型への応募が前例のない長期滞在であることから, 理事会の意見を聞いたうえで審査を行うこととした.
9. 綿田理事(大会・企画担当)より業務執行報告が行われた. 3月10日に開催された大会・企画委員会において2021年度秋季大会をLOCの意向を聞いたうえで, 感染状況が読めないこと, 予定している会場の利用制限の問題からオンライン大会とす

ることを決定したとの報告があった。一般公開セミナーは LOC で開催準備を行っており、豊国理事より、科研費の採択結果を踏まえて開催形態等の今後の方針を検討する予定であるとの報告があった。

10. 吾妻理事（災害調査担当）より、業務執行報告が行われた。災害調査委員会の 2021 年 1 月から 3 月期の活動報告について資料が提示され、特に防災学術連携体との連携について防災学術連携体の一般社団法人化の進捗状況が報告された。

11. 中川理事（普及行事・ジオパーク支援担当，社会活動基金事業担当）より業務執行報告が行われた。ジオパーク支援事業については委員会を 2021 年 3 月 10 日にオンラインで開催し、次期委員長を松原委員としたこと、地震学習会の共催依頼を活断層学会に依頼する予定であること、2021 年度の巡検の準備状況、防災科研の「地震だねっと！」との協力状況、今後の地震学習会のテーマの検討、ジオパークコンソーシアムの検討状況の情報共有を行ったことが報告された。普及行事支援事業については 2 月 20 日に 3 学会の連合企画委員会を開催し、2022 年度の開催地公募を延長したこと、2022 年度はサマースクールの振り返りのための活動を組織的に行う方向を確認したこと、2021 年度の実施の準備状況の確認、次期委員を検討したことが報告された。

## 7. 意見交換

以下の意見交換があった。

1. 中島常務理事より、2021 年度定時社員総会の開催時期や開催方法について意見交換を行いたいとの提案があった。意見交換の結果、6 月上旬から中旬の間で日程調整を行い、オンライン形式で総会を開催することとした。
2. 議長より、「3.11 を防災教育と災害伝承の日に制定しよう」活動の賛同について資料が提示された。意見交換の結果、「共催，協賛及び後援に関する規則」に準じて対応することとし、理事から反対意見がなかったため活動に賛同することを決定した。
3. 中島常務理事より、著作物の二次著作申請について資料が提示され、問い合わせ内容についての意見交換を行った。意見交換の結果、許諾を得る方法はあるとの回答とする方針とし、理事 ML において確認の上、先方へ回答することとした。